



新しい時代を切り拓く 若手経営者 47 士のメッセージ

～過去の自分に「倍返し!!」～
若手経営者は常に進化し続ける

経営をスポーツに例えると、「野球」
経営にとっての 4 番でエース(大切なもの)は、「人」

企業(特別)ヒアリングの結果について

近畿財務局では、管内の経済情勢等を把握する一環として、25 年 10 月から 11 月にかけて、関西地域の 40 歳以下の若手経営者 47 名(以下、「47 士」という。)に今に至るまでの道のり等についてヒアリングを実施しました。

今回、その結果を取りまとめましたので、公表します。

ヒアリング結果の概要は、次のとおりです。

1. 47 士は、創業者が 25 名、事業継承者が 22 名となっています。
47 士の経営者歴は、「10 年未満」が、8 割弱、「10 年以上」が 2 割強となっています。
なお、社長就任年齢は、創業が 23 歳から 35 歳までの間に就任、継承は、25 歳から 39 歳にかけて就任しています。
2. 経営者として、「伝える力」、「行動力」、「決断力」が求められ、「社会貢献」、「責任感」、「社員の幸せ」、「孤独」が芽生えてきたとの回答がありました。
3. 企業経営をスポーツに例えてもらったところ、「攻めと守りのバランスが大切」として 1 位に「野球」(31%)、「粘り強く走り続けることが重要」として 2 位に「マラソン」(25%)となりました。
4. 企業経営にとって大切なものを漢字一字で表現してもらったところ、1 位は、「人」(30%)、2 位、「信」(26%)、3 位、「心」(12%)となりました。

5. 過去の悔しい思いや出来事に対し、「やれるものなら、やり返したい相手」を確認したところ、1位は、「(過去の)自分」(17%)、2位「金融機関」(15%)、3位「慣習・規則等」(11%)となりました。

6. 生まれ変わっても経営者になりたいかとの問いには、9割が「なりたい」と回答。さらに、今の時代は企業経営するのに、良い時代であるかについては、「良い」が6割を超えました。「厳しい時代に評価されるのであれば、本物」、「多様化によって新たなニーズがあふれている」等の理由が挙げられました。

47士からのメッセージ～若者に伝えたい「6つの提言」～

- ① 失敗を恐れるな！
- ② 当たって砕けろ！
- ③ 目標を持て！
- ④ 自分を信じて行動しろ！
- ⑤ 感謝の気持ちを忘れるな！
- ⑥ 他人のせいにするな！

今回のヒアリングは、当局の若手職員(40歳以下)の中から希望者を募り、応募のあった23名で実施しました。

ほぼ同時期に生まれ、それぞれの道を歩んできた同世代の若手経営者が、「今、何を考え」、「何を目指してきたのか」、「そこにはどんな苦労があったのか」、などの生の声を自分の耳・目で確認することにより、机上では得られない知識や現場感覚を磨き、各自が今後の行政に生かしていくことを目指して実施したものです。

今後とも、近畿財務局では、このような若手経営者との輪を広げ、あるべき関西経済の未来を議論していきたいと考えております。

【お問い合わせ先】財務省近畿財務局

総務部 総務課 企画係

TEL : 06-6949-6390 (谷上、中留)

